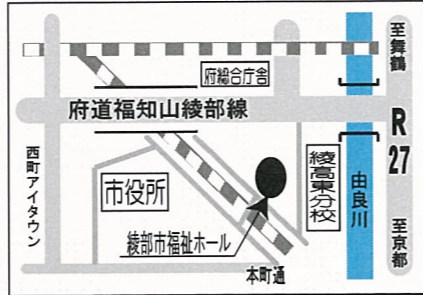


あやべの杜協



編集発行/社会福祉法人綾部市社会福祉協議会 綾部市川糸町南古屋敷5-1綾部市福祉ホール内 TEL (43) 2881 FAX (43) 2882



(写真左) コロナ禍の前の会食の様子



(写真右) 感染予防対策をとりながら行った、認知症の学習会の様子

平成26年、地域の中で婦人会がなくなり、「地域の中の集まりをしよう」と話がもちあがって、下原サロンが誕生しました。発足当初に「代表は決めない」「当番は自治会の組単位の持ち回り」「会費は決めずに当日かかった経費を集める(500円程度)」「廃品回収で得た収益を使う」を前提として始まり、今も受け継がれています。参加者は、女性ばかり25名程度で、11時から15時の間、昼食に舌鼓を打ちながら楽しんでいます。「たべる」「しゃべる」が一番の楽しみとして、当番の組は、弁当やおやつ、買い出しと汁物などプラス一品を作ります。また、2ヶ月に一回程度の開催日については、口伝えでお知らせ

下原サロン

発足：平成26年5月
会場：下原公民館
代表者：伊藤幸子
(46-0792)

ています。
サロンに参加して良かったことは、「楽しい時間を共有できること」や「知り合いが増えたこと」などと笑顔で教えて頂きました。サロンの終わりには、大正琴の演奏で一緒に歌を唄っています。
今年、新型コロナの影響で2回しか開催できませんでしたが、サロンが再開した時には、男性も一緒に集まれる場にできたらいいなと思っています。また、サロンとしては、以前のように地域の文化祭に「たこ焼き」を出店したり、新たにバス旅行など楽しい企画ができればと「夢」も持っています。

地域のひろば

情報募集

たくさんの方に知ってほしい！協力してほしい！そんな時、「このひろば」を「活用」ください。隔月発行の全戸配布です。
(内容や紙面の都合上、掲載できない場合があります。)

ふるさと綾部の老人を守る会



令和3年度会員募集中!!

ふるさと綾部の老人を守る会(昭和46年発足)では、新規会員を募集しています。ふるさと綾部で暮らす高齢の親が、地域の中で孤立せず、元気に不安なく生活できるように、見守り訪問や交流の機会づくりなどに取り組んでいます。この機会にご入会をお待ちしています。

- 対象…ふるさと綾部に70歳以上の高齢者(親)が居住し、扶養義務者(子ども)が同一自治会を除く地域に居住している場合で、この会の趣旨に賛同される方が対象となります。
- 年会費…高齢者親お一人につき2千円
- 申込方法…地域の民生児童委員を通じてお申し込みください。

善意の寄託

たくさんのご寄付ありがとうございます。みなさんから寄せられた善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。(敬称略)

(令和3年1月1日~2月28日)

- 山崎裕司(天神町) 100,000円
 - 一市民 5,000円
 - 小村一郎(青野町) 100,000円
 - 一市民 5,610円
 - 一市民 5,000円
 - 山崎裕司(天神町) 車椅子1台
 - 一市民 介護用品多数
 - 天衣京都あやべ四季の会 使用済み切手137g
 - 嵯峨友子(西町) 介護用品多数
 - 東洋羽毛工業株式会社(神奈川県) ムートン座布団2枚
 - 俳句天衣綾部句会 使用済み切手85g
 - 一市民 紙パックのお茶、コーヒー他
 - ◆土師守(上杉町) 介護用品、簡易トイレ等
 - ◆一市民 食材×3
 - 一市民 食材×3
- 綾部市社会福祉協議会に ◆社協の家つどいに
■社協の家なごみに

毎月開催 男性介護者のつどい Cafe

そやなあ談義に参加しませんか

男性介護者のためのカフェを開催しています。大変ですなを共有しましょう。ホッとする時間を...

ほんのひと時 心の中を 開けましょう

とき 毎月第4火曜日 13時30分~15時
ところ 綾部市福祉ホール
問：綾部市社会福祉協議会・中部地域包括支援センター 電話 43-2888 FAX43-2882

登録ヘルパー募集!!

綾部市社会福祉協議会では、登録ヘルパーを募集しています。活動日数や時間は相談に応じます。詳しくはお問合せ下さい。

- 職種登録ヘルパー
- 資格・介護職員初任者研修修了者(旧ヘルパー2級資格所持者)、介護福祉士
- 問：綾部市社会福祉協議会 電話 43-2880(1)

元気になるエッセイ

20年の感謝をこめて

綾部にUターンしたのは99年1月のことでした。社協にお勤めだったSさんから「機関紙(本紙)でエッセイを書いてほしい」と依頼があり、隔月でボランティアエッセイを書かせていただいていたところ、今号で連載は120回目、スタートは21世紀の始まりの2001年5月だったようです。「そろそろお暇を」と、以前より思っていたのですが、思い切って最終回を申し出させていただきました。それがちょうど20年という節目だったように驚いています。「綾部を元気にするエッセイ」という依頼でしたが、書くことで逆に元気をい

今号で好評頂いていた本コーナーは最終となります。

《毎号市内のサロン活動を紹介しています。サロン活動の立ち上げや運営のご相談は、綾部市社会福祉協議会まで》

ご意見・ご感想をお聞かせください。



たくさんの募金、 ありがとうございました

綾部市川糸町南古屋敷5番地の1
綾部市福祉ホール内
綾部市共同募金委員会

今年も、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金が終了しました。今年、コロナ禍の中ということもあり、大変厳しい社会情勢の中ではありませんが、自治会や職場、立地企業の皆さまなど、大変多くの皆様にご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。赤い羽根募金は10月から、歳末たすけあい募金は12月から募金活動を行い、それぞれ子どもや障害児者、高齢者、生活困窮者被災者などの生活支援や社会的孤立を防ぐ活動、見守り活動、社会参加支援など、社会福祉協議会をはじめ、福祉団体等の事業や活動に活用させていただきました。これらの募金を活用した事業や活動を通じて、社会的孤立を防ぎ、つながりある地域づくりを進めてまいります。引き続き誰もが安心して暮らせる地域づくりに努めて参りますので、あたたかいご支援ご協力をお願いします。

●赤い羽根募金 募金総額 4,571,055円

区分	金額 (円)
戸別募金	3,594,836
法人募金	413,900
職域募金	436,110
イベント募金	0
街頭募金	24,944
窓口募金	35,500
その他の募金	65,765
合計	4,571,055

今年集まった募金は、令和3年度の地域福祉活動に役立てられます。



●歳末たすけあい募金 募金総額 3,365,618円

区分	金額 (円)
戸別募金	2,888,821
法人募金	80,920
職域募金	330,174
イベント募金	10,000
街頭募金	37,083
窓口募金	18,620
小計	3,365,618
前年度繰越金	7,345
合計	3,372,963

配分先	区分	金額 (円)
綾部市社会福祉協議会	生活困窮、被災世帯に	1,249,160
	就学前児童療育通所助成に	682,450
	作業所通所者支援に	40,282
	認知症高齢者・障害者等いばしょづくりに	292,726
	高齢者外出支援に	10,000
	介護者家族支援に	50,000
綾部市共同募金委員会	困窮者緊急生活サポート事業に	307,345
	調査協力等に	150,000
	公募助成に	322,000
事務費に	269,000	
合計	合計	3,372,963

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに綾部市社会福祉協議会が取り組んできた事業です。民生児童委員や福祉施設、ボランティアのみなさんに多大なご協力をいただきました。



赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金は、地域福祉の向上に役立てられています。

綾部市共同募金委員会では、住民の主體的な福祉活動を応援する公募助成を行っています。赤い羽根募金では、通年の活動を、歳末たすけあい募金では、新しい年を迎える時期に行われるたすけあい活動を主に応援しています。コロナ禍の中で、工夫して取り組まれた活動の一部を紹介します。

綾部障害児を守る会

夏休みなど、長期休みの時の障害のある子ども等のいばしょづくりとして季節療育に取り組んでいます。感染予防策をとって、川遊びをし笑顔いっぱいでした。



大島町西喜楽会(中筋)

コロナ禍の中、参加者を最小限にし行いました。残念ながら子どもたちには参加を呼びかけず紅白餅をつき高齢者宅への宅配を行いました。



あい愛ルーム(綾部)

「自分は一人ではない。共に過ごせる仲間がいる」と感じてもらえる会ができました。写真は、感染予防をした上での干支工作の様子です。



綾部市母子寡婦福祉会(全市)

日々の生活に追われる中、華やいた気分を迎えたいと寄せ植えを教わりました。素敵な植木鉢を手にする事ができ、会員の笑顔もいっぱい咲きました。



第一区自治会(中上林)

本年はコロナ禍の中で開催も悩みましたが、お年寄りのお餅を手渡ししお話を笑顔、子どもから年配者が集まる姿にやってよかったです。



わいわいカフェ(山家)

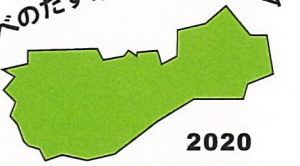
みんなに喜ばれ3年が過ぎ、お互いに心やすくなりました。今年縮小版で仲間と一緒に過ごし閉塞感から解放されました。ありがとうございました。



豊里つれづれの会(豊里)

今年度は感染予防をしっかりと守り実施することができました。ギターとハーモニカのリードでクリスマスや童謡など楽しく過ごすことができました。





つながりあうまち「あやべ」の実現へ

あやべのたすけあいを考える会

2月21日(日)、綾部市から委託を受けて行う生活支援体制整備事業の一環として、あやべのたすけあいを考える会(第一層協議体)を開催し、約100名の参加をいただきました。

今回、コロナ禍ということもあり、「小さく集まり、大きくつながる」ため、東部(あやべ温泉二王館)、中部(あやべ日東精工アリーナ、福祉ホール)、西部(里山ねっと)の4会場をインターネットでつなぎ開催しました。

日本福祉大学の川島ゆり子教授による基調講演「要旨は5ページに掲載」のあと、綾部市内での実践報告をインタビュ方式で行い、地域の福祉課題に応じた活動の大切さを学ぶ機会となりました。

実践報告では、地域の課題に向き合い、コロナに負けず頑張る姿に、参加者の多くが共感されたように感じます。

今回で終わりではなく、次につなげ、つながりあうまち「あやべ」の実現に向けて今後も進めて参ります。次回も多くの方の参加をお待ちしています。

●実践報告

「七不思議マート・ほっこりサロン」と「カルチャー講座」の取組

志賀郷地域振興協議会 会長 前田拓己氏

(聞き手) 第二層コーディネーター 村上辰也

「ほっこりほかほか 豚汁を一緒に食べよう会」の取組

安場町自治会長 村上嘉彦氏、安場町民生児童委員 加藤彰子氏、食生活改善推進員 千本順子氏

(聞き手) 第二層コーディネーター 田中武秀

「東部地域の交通と暮らしを考える会」の取組

東部地域の交通と暮らしを考える会 会長 岩見修一氏

(聞き手) 第二層コーディネーター 中川啓芳



「つながりあうまち」地域共生社会をめざして

日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 川島 ゆり子氏



「コミュニティ」地域とは

人が生き、人が人生を重ね、新しい命が生まれ、それが続いていく場所を「コミュニティ」といいます。そして今、地域のつながりやを断ち切っていく「コロナ」社会を迎えています。

国が進める包括的な支援体制

地域の中では、社会的孤立など、問題は複雑化・複合化しています。そして、少子高齢化・人口減少の中で、担い手の不足が顕著になっていきます。国や地方公共団体は、地域共生社会を目指すために、地域住民等と支援関係機関が連携して、地域生活課題を解決することができるよう、様々な施策がはじまっています。地域で暮らす私たちが、今こそ忘れてはいけない大切な思いは、「われわれ意識」です。そこには、助け合いという役割意識と、助けられる依存意識があります。それは助け合い、お互いさまという気持ちで成り立っています。

つながりあうための4つのキーワード

助け合い、お互いさまという気持ちで成り立つ「ともに暮らす社会」をつくるためには、①みつける、②ほぐす、③つなげる、④わ

けあうの4つのキーワードがあります。「みつける」は、地域の中の課題や困りごとだけでなく、地域の中の宝(人・モノ・ココロ)を見つけていくことが大切です。「ほぐす」は、情報を集め、絡まり合っている糸をみんなでほぐすこと、みんなで気づいた問題や宝を共有することが大切です。「つなげる」は、人と人、人とモノ、活動と活動、住民と専門職などをつなげること、「わけあう」は、小さな成功をわけあうことで、自信が生まれ、次の活動につなげていく原動力になっていくのです。

タテミツの協働の必要性

「つながりあうまち」(地域共生社会)は、住民だけでも、専門職だけでも、そして行政だけでも実現しません。タテとミツ、面として協働することが必要です。

私が、私の大切な人が、大切に人につながる人が、これからも安心して地域でくらし続けていくために「からスタート」、共通の目標をもち、その上で、「誰のために何のため取り組むのか」としてそれを誰と一緒にやるのか」を考える。この順序が大切です。(講演内容を要約したものです)

参加者の声

多くの方にアンケートのご協力をいただきました。中様の音声が入りこまらなかつたという声もいくつかいただきました。今後の課題にしていきたいと思います。

○それぞれの地域課題を地域の方が真剣に考えておられ頑張って活動されている報告に感動しました。(60代)

○ともに暮らす中での「みつける」「ほぐす」「つなげる」「わけあう」というキーワードは大変ヒントになりました。(60代)

○他人事ではなく自分のこととしてかかわりたいと思います。(70代)

○専門職は「お困りごと探し」をするが、「宝物探し」をするのが良いという言葉にハッと気づきました。そのような目線で活動できるように考えていきたいです。(40代)

○住民が少しの「めんどろ」を引き受け「たすけあい」を活性化することが必要だと思いました。(70代)

○地域共生社会について先生の話が参考になりました。縦割りではなく活動しやすくなることを期待しています。(70代)

○地域で普段から色々な話ができる場が必要だと思っています。(70代)

○ターンなどで移住して来られる人たちと元からの住民の間には少なからず「カベ」があるように思います。ターンで来られる方は若い方が多いので、そんな方たちにも地域を好きになってもらう力を発揮していただくとか。元の住民も後ろ向きではなく、何事にも前向きに。(50代)

○息子は発達障害児です。いずれ私が亡くなったあと息子は一人で生きていくことになると思います。そのとき息子が制度の谷間で福祉につながる事ができずに、孤独のなかで苦しむような生活をしてほしくありません。今後時代の流れや価値観は変わっていくと思います。息子が少しでも生きやすい社会になっていけるよう私が生きていく間にこれからも勉強させてもらいたいです。(40代)

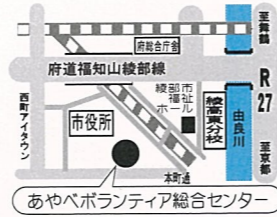
あやべボランティア情報

Ayabe-Volunteer information

■ 開所時間：月～金 8:30～17:15

■ <http://www.ayabe-vc.net/> ■ E-mail:office@ayabe-vc.net

(問) あやべボランティア総合センター 綾部市本町二丁目14 TEL.40-1388 FAX.40-1389



第4回 住友理工「夢・街・人づくり助成金 in 綾部」優秀事業が決定

あやべボランティア総合センターでは平成28年度より住友理工『夢・街・人づくり助成金 in 綾部』の事務局を担っています。第4回目の助成金に申請された事業からは4団体が採択され、「小畑城を守る会」が優秀事業に選定されました。

3月8日(月)には綾部市に拠点を構える住友理工ホステックス株式会社より、助成プログラム実施に於いて地域社会の課題解決に向け大きく貢献された優秀事業に奨励賞が贈られました。

この事業は、戦国時代末期に築かれた小畑城跡を、地域の憩いの場や歴史遺産として市内外に発信することを目的に、林業大学校やCSR活動としてモデルフォレスト事業を展開しているゲンゼ株式会社との連携のもと、間伐作業や、参道の整備、案内板・ベンチの設置、桜の植樹等の活動を継続的に展開されています。これからの季節、眺望を確保できた山頂まで、ハイキングにいかがでしょうか？

小畑城跡資料



綾部季節療育ボランティア募集

春休みに、障害のある子どもたちと遊んでくださるボランティアを募集しています。

■ 発信元
綾部障害児者を守る連絡会
(綾部季節療育事業)

● 活動日・内容
3/26(金) 散歩・映画会
3/29(月) 散歩・卓球パレー
お別れ会

● 活動場所
豊里コミュニティセンター
■ 申し込み・問合せ
山下 TEL/FAX 42-8236
携帯 080-6109-1642
大槻 携帯 090-5128-4079

※新型コロナウイルスの影響により予定を変更することがあります。



映画上映&シェア会 住友理工 助成金事業

小さなアースデイ実行委員会里山映画部では、毎月第2水曜日に上映会を開催しています。

◆ 4月14日(水)【バベルの学校】
◆ 5月12日(水)【シード～生命の糧～】

● 場所：里山ねっと・あやべ
● 時間：13時30分～(当日19時～および翌日13時半～はZOOMオンライン上映)
● 問合せ：070-8332-0786(大刀)
eiga@ayabe.jpn.org



FMいかる『ボランティアの窓』(76.3MHZ) 出演情報

◆ 4月の放送予定は
4月12日(月) 13時～
『あやべボランティア総合センター第2次基本計画策定委員会』
◆ 5月の放送予定は
5月10日(月) 13時～
『あやべボランティア総合センター運営委員会』
ボランティアを始めたきっかけや活動のエピソードなど、様々なお話をぜひお聴きください！



ふるさと綾部の老人を守る会お年玉企画

(1月下旬 綾部市内)



(写真左) 朝倉会長立ち会いのもと、抽選会を行う。

ふるさと綾部の老人を守る会(運営委員長:廣瀬泰千さん)では、今年、例年行っている日帰りバス旅行、支部での交流事業など、会の中心活動が、コロナ禍の中で、開催を見合わせてきていました。

そこで、今回初の試みとして、会から年賀状をふるさと高齢者の皆様にお届けし、独自の「くじ」で、お楽しみ品の当たる「お年玉企画」を行いました。

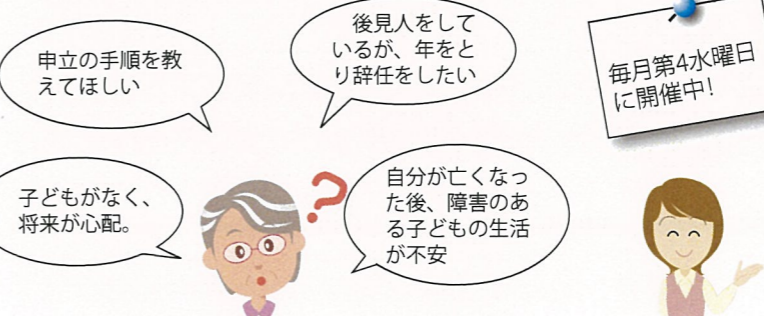
1月13日(水)に、厳正な抽選会を行い、当選者には、1月末を目途に各家庭にお年玉品をお届けにあがりました。「良いことのない日々が続いて、久しぶりに嬉しい思いをした!」「元気がでた!」など、たくさんの笑顔をいただきました。

今後も知恵をしばり、工夫をして、コロナに負けない取組を模索していきます。

成年後見相談

成年後見制度を利用するための疑問や手続きに関する相談を社会福祉士がお受けします。お気軽にご相談ください。

事前予約制
相談は無料です



とき **3/24・4/28** (水) ①13時～14時、②14時～15時
ところ 綾部市福祉ホール(川糸町)
対象 綾部市在住、在勤の方
問・申込 綾部市社会福祉協議会 (tel.43-2881 FAX.43-2882)